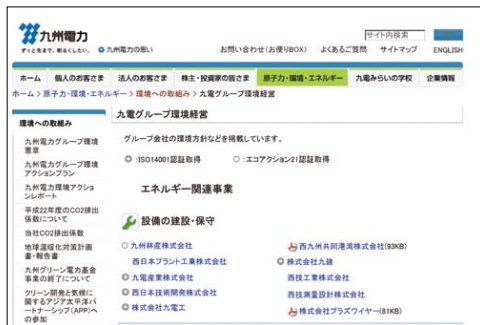


環境コミュニケーションの推進

グループ会社での環境活動情報については、本レポートをはじめ、九州電力ホームページにおいても公開しています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > [九電グループ環境経営](#)



九州電力ホームページ
[環境への取組み (九電グループ環境経営)]

用語集を
ご覧ください

- 環境コミュニケーション
- 環境経営
- 環境マネジメントシステム (EMS)
- ISO14001
- ISO14001準拠
- エコアクション21
- ISO簡易システム
- 環境保全協定

地域における環境活動の推進

「九州ふるさとの森づくり」への参加や各社独自の地域清掃活動など、地域における環境活動に積極的に取り組んでいます。

2012年度は、これらの環境活動が認められ、(株)ジェイ・リライツに、国土交通省九州地方整備局から、道路美化活動に対する感謝状が授与されました。



よみや
夜宮公園での清掃活動 (北九州エル・エヌ・ジー(株))

環境マネジメントシステム (EMS) の自立運用

グループ会社は、構築レベルを6段階に分類した九州電力のグループ会社独自の統一的な基準(「九電グループにおけるEMS構築基準」)に基づき、各社事業特性に応じたEMSを構築し、環境負荷を適切に管理する取組みを推進しています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > [九電グループにおけるEMS構築体制基準](#)

EMS構築状況 (2013年3月末現在)

EMS構築レベル		会社数
第6段階	ISO14001 認証取得 (全事業所で認証を取得している会社)	6
第5段階	ISO14001 認証取得 (一部の事業所で認証を取得している会社)	6
第4段階	ISO14001 準拠	5
	エコアクション21 (EA21) 認証取得	6
第3段階	ISO簡易システム	6
第2段階	文書による体制、目標管理、 遵守評価の実施	17

(注) 第1段階 (環境管理体制の整備、環境方針の策定、環境目標の策定) : 5社。
第1段階のEMSを構築中 : 2社。

環境に関する法規制遵守の状況

主要な環境関連の法令等に基づく改善勧告・命令や罰則について、2012年度はグループ各社において適用を受けた事例はありません。今後も引き続き、EMSの適切な運用に努めるなど、法令遵守はもとより、企業倫理にのっとった公正で透明性の高い事業活動を推進していくとともに、地元自治体と締結している環境保全協定等についても厳正に遵守していきます。

「エコアクション21 環境活動レポート大賞」にて受賞しました。

九州林産(株)

環境省及び一般財団法人地球・人間環境フォーラム主催の第16回環境コミュニケーション大賞において、九州林産(株)の2011年度環境活動レポートが環境活動レポート部門優秀賞を受賞しました。また、本レポートは、特定非営利活動法人九州環境カウンセラー協会主催の2012年度エコアクション21環境活動レポート大賞でも環境活動レポート大賞を受賞しました。

受賞理由は、環境活動の取組内容、取組結果を説明するにあたり、図・グラフ・写真を多くの場面で使用し、環境活動内容を伝わりやすく工夫したことにより、環境コミュニケーションツールとして優れている等と評価されたことによるものです。

また、九州電力社有林の持続可能な森林管理に加え、森林資源を循環活用する目的で、FSC認証木材の利用率、間伐材の利用率、緑化工事提案件数を環境目標に設定するなど、環境活動が事業活動と一体的に運営されている点も高い評価を受けました。



光洋電器工業(株)

特定非営利活動法人九州環境カウンセラー協会主催の2012年度エコアクション21環境活動レポート大賞において、光洋電器工業(株)の2011年度環境活動レポートが環境パフォーマンス大賞を受賞しました。環境パフォーマンス大賞は、事業特性に見合った取組みを行い、その成果が大きいまたは期待できる事業所が受賞します。2011年度の環境活動において、環境負荷が減少傾向にあることが評価されました。2011年度のエネルギー部門賞受賞に引き続いての受賞となりました。



環境会計

「九電グループにおける環境会計基準」に基づき、各社で算定した環境活動コストを集約しています。

単位：百万円

環境活動の分類	主な活動	2011年度		2012年度		2012年度環境活動	
		投資	費用	投資	費用	項目	効果
地球環境保全	地球温暖化防止及びオゾン層保護対策等	1,968.1	1,440.2	59.1	1,245.9	温室効果ガス排出抑制量*1	34.5千トン-CO ₂
地域環境保全	大気汚染・水質汚濁・騒音・振動防止対策等	11.7	1,657.7	260.4	1,159.4	SOx排出低減量*2 NOx排出低減量*3 法令、条例に基づき適正に管理	7.7千トン 2.3千トン
資源循環	産業廃棄物・一般廃棄物の適正処理等	58.7	1,140.4	109.4	1,131.0	産業廃棄物リサイクル量 産業廃棄物適正処分量 古紙リサイクル量 一般廃棄物の適正処理	95.2千トン 6.9千トン 0.8千トン
グリーン調達	グリーン調達で発生した差額コスト	—	14.0	—	8.2	—	—
環境活動の管理	環境教育、EMS運用管理、環境負荷監視・測定、構内緑化等	120.5	269.9	34.8	246.8	環境講演会 外部認証取得会社(ISO14001、エコアクション21) EMSの第2～4段階への取組会社*4 環境関連データベース項目数	52社 62人参加 1社 65人参加 18社 28社 856項目
環境関連研究	廃棄物有効利用等	0.0	1.9	0.0	1.6	—	—
社会活動	地域の環境活動支援等	0.0	2.0	0.0	3.4	「九州ふるさとの森づくり」植樹活動 地域清掃活動	25社延べ620人参加 31社実施
環境損傷対応	公害健康被害補償制度による汚染負荷量賦課金	—	161.2	—	167.1	—	—
合計	—	2,159.0	4,687.4	463.7	3,963.4	—	—

*1：新エネルギー等の導入実績において、導入しなかった場合をベースラインとして算出。

*2：ばい煙発生施設(ボイラー等)において、脱硫処理や低硫黄燃料の使用を行わなかった場合をベースラインとして算出。

*3：ばい煙発生施設(ボイラー等)において、脱硝処理を行わなかった場合をベースラインとして算出。

*4：エコアクション21認証取得会社を除く。

環境教育・環境情報共有化

グループ会社の集合講演会及び各社ごとの環境講演会の実施により、グループ会社社員の環境意識高揚を図っています。

また、インターネットを活用した「九電グループ情報ネットワーク」に環境関連法規制等の情報を掲載し、グループ会社の環境情報共有化を図っています。

環境講演会(2012年度)

項目	内容	受講者数
グループ会社講師による集合講演会	使用済蛍光灯からのレアアース回収について (株)ジェイ・リライツ 環境技術開発部長 増本耕平氏 エコアクション21環境活動レポート2011 光洋電器工業(株) 技術部 末吉孝太郎氏 文書・記録情報の機密抹消リサイクル処理について 九州環境マネジメント(株) 営業部 部長 早川真一氏、営業部 田中修平氏	62人
九州電力社員による出前講演会(西日本プラント工業(株))	環境問題の現状と九州電力グループにおける環境経営の取組みについて	65人

用語集を
ご覧ください

- エコアクション21
- 社有林
- FSC
(森林管理協議会)
- 環境会計
- 環境活動コスト
- 地球温暖化
- オゾン層
- 温室効果ガス
- 大気汚染
- 水質汚濁
- SOx(硫黄酸化物)
- NOx(窒素酸化物)
- 資源循環
- 産業廃棄物
- 一般廃棄物
- グリーン調達
- 公害健康被害補償制度
- 汚染負荷量賦課金
- 新エネルギー(新エネ)
- ばい煙
- 脱硫処理
- 低硫黄燃料
- 脱硝処理
- レアアース